

蕪議第24号  
令和5年8月25日

地区長・組長 各位

蕪崎市議会議長 田原 一孝  
(公印省略)

第14回蕪崎市議会「議会報告会」ご意見・ご要望の回覧について（依頼）

残暑の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、蕪崎市議会では、蕪崎市議会基本条例に基づき、住民に信頼され市民目線の開かれた議会を目指す活動の一環として、7月上旬において議会報告会を開催いたしました。

市民の皆様方におかれましては、公私ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございました。

報告会でいただいたご意見・ご要望に対して、別紙のとおり回答書を作成いたしましたので、ご多用のところと存じますが、組回覧をお願い申し上げます。

この内容についてのお問い合わせは

蕪崎市議会事務局 総務担当

0551-22-1111（内線 513・514）

までお願いします

# 回 覧

令和5年8月25日

市民の皆様へ

葦崎市議会議長 田原 一孝  
(公印省略)

## 第14回葦崎市議会「議会報告会」ご意見・ご要望の回覧について（回答）

残暑の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、葦崎市議会では、葦崎市議会基本条例に基づき、住民に信頼され市民目線の開かれた議会を目指す活動の一環として、7月上旬において議会報告会を開催いたしました。

市民の皆様方におかれましては、公私ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございました。

報告会でいただいたご意見・ご要望に対して、別紙のとおり回答書を作成いたしましたので、ご高覧いただけますようお願い申し上げます。

今後とも、市民のための議会活動に邁進してまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

－ 令和5年度 第14回「議会報告会」の開催状況の報告 －

【  葦崎  】地区

■報告会期日：  令和5年7月3日(月)

■開催場所： 市民交流センター「ニコリ」3階 多目的ホール

■参加者：	<u> 葦崎 </u> 地区…	(男)	<u> 10 </u> 人	(女)	<u> 2 </u> 人	小計	12 人
	<u> 穂坂 </u> 地区…	(男)	<u> 1 </u> 人	(女)	<u> </u> 人	小計	1 人
	<u> 藤井 </u> 地区…	(男)	<u> 1 </u> 人	(女)	<u> </u> 人	小計	1 人
	<u> 大草 </u> 地区…	(男)	<u> 1 </u> 人	(女)	<u> </u> 人	小計	1 人
	<u> その他 </u> …	(男)	<u> </u> 人	(女)	<u> </u> 人	小計	人
	合計	(男)	13 人	(女)	2 人		15 人

(1) テーマ： 天神町地内における側溝の蓋の老朽化について

Q① 市道(韮崎)48号線の側溝の老朽化について

小学校の通学路であり、蓋が動くので子供たちが怪我をする可能性がある。車の通り抜けの台数が多く、その都度音が大きく響く。3期前の自治会長から幾度か要望を出し、2回ほど杭を入れて対応していただいたが、直ぐに壊れ、元に戻ってしまう。旭町側までは側溝の整備が完成されているが、続いている天神町側はそのままの状態なので、同じように整備をしていただきたい。

A① 跡部歯科東側から主要地方道韮崎・昇仙峡線へ繋がる、市道(韮崎)48号線は幅員2m程度と狭隘な道路であることから、側溝上を車が通過することにより、側溝の蓋が動いて音が発生する状況であります。市といたしましても、現地を確認しておりますので、音の発生を防止できるよう対策の検討を行ってまいります。また、溝蓋の交換につきましても、地区からの原材料支給申請にて対応を検討していくとのことです。

(2) テーマ： 富士見三丁目地内におけるスピード注意喚起の看板設置について

Q① 山梨英和ダグラスこども園において、保護者の送迎車両がスピードを出し危険なので、事故が起きないように注意喚起の看板を設置するなどの対策を要望する。

A① 市こども子育て課としては、まずは園に保護者への注意喚起をお願いするとともに、看板については建設課と連携を図る中で設置に向けて検討したいと考えていますとのことです。

No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
①	自治会役員のなり手がいません。市の自治会改革検討委員会は、現在どのような状況で、いつ、どのように改革が進んでいくのでしょうか。	令和5年3月に自治会改革検討委員会から「区長等役員の負担軽減」、「役員等への女性や若い世代の登用」、「自治会活性化活動の見直し」という3つの観点から市へ提言がされました。特に、区長等役員の負担軽減については、各委員から役職の推薦等について様々な意見が出されていたようです。市では、これからの自治会の進め方等について地区長連合会とも協議をする中で、いかに負担軽減ができるのか役職の選出方法や会議の見直しなどについて現在検討を進めている状況であると聞いております。
②	地区によって区長の仕事の内容がまちまちになっていると感じます。サンプリングで区長の仕事を分析して頂き、区長の仕事を標準化し、ガイドブック等の作成を検討して頂きたい。	地区により実情、活動内容が異なってくるかと思いますが、ガイドブックの精査、見直しについては市へ伝え、議会としても検討させていただきます。
③	ヴァンフォーレ甲府の公式試合を中央公園で。そういう目標を持っていただき、韮崎市にお金が落ち、市の活性化になるように考えていただきたい。	Jリーグスタジアム基準により、公式戦を開催できるのは、入場可能数がJ1は15,000人以上(椅子席10,000席以上)、J2は10,000人以上(椅子席8,000席以上)(それぞれ芝生席は観客席とはみなされない)等、様々な基準が設けられております。現状の施設では、上記基準を満たすことができず、公式戦を開催することができません。なお、スタジアムの誘致となると、予算の問題をはじめ、広大な用地や交通アクセスの確保が必要であること、交通量の増加による渋滞、周辺地域への違法駐車や事故等の増加のほか、騒音や光害、ゴミ等の廃棄物の発生により地域に悪影響を及ぼす可能性もあることから、地域住民の理解を得ることが必須となること等、生じる課題が多く、現状は困難であります。
④	武田橋、船山橋の渋滞緩和の為、長野方面への左折レーンを要望する。	国道20号と武田橋、船山橋との交差点は、朝、夕の通勤時間帯には、慢性的な渋滞が発生していることから、市において、国、県等の関係機関へ要望しているところであります。今後、進捗状況等を皆様にお伝えしていきたいと思っております。

No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
⑤	市道の白線、停止線が薄くなっている。市の対応について。	白線、停止線等の路面標示が不鮮明な箇所があることは承知しておりますので、市及び公安委員会へ要望してまいります。また、優先度の高い箇所につきましては、地区要望として要請しますので状況を確認させていただきたいと思っております。（富士見一丁目地区より要望が提出されておりますので、業者との調整後、対応してまいります。）
⑥	ゴミステーションについて カレンダーを無視したゴミ出しは、外国人居住者が増える中、マニュアルを渡しても読めない方が多い。その方々を集めて講習会、指導等をして頂けるとありがたい。	市民生活課生活環境担当にご相談いただきたい。アパートの所有者または管理者を通じて、外国人等入居者へのゴミの分別について依頼する等の対応をいたします。また、外国語の分別マニュアルについては、今後、検討してまいります。
⑦	ゴミステーションは各自治会が維持管理をしています。転入、移住して来られた方に自治会加入を促して欲しい。	自治会加入は任意なので市としては強制はできません。また、地域の住民のためのゴミステーションであるため、自治会未加入者の使用禁止も難しい状況ではありますが、地域外の方がゴミステーションを利用する問題は、他地区にもございますので、地区の皆様と一緒に対応を考えていきたいと思っております。
⑧	お年寄りの一人暮らしが増えてきている中で、災害発生時に緊急で避難する場所として老人福祉センターはスペースが足りない。そこの拡幅、または違う場所を検討する必要があると感じる。	今後、検討してまいります。

－ 令和5年度 第14回「議会報告会」の開催状況の報告 －

【 穂坂 】地区

■報告会期日： 令和5年7月6日(木)

■開催場所： 穂坂コミュニティセンター

■参加者：	<u>穂坂</u> 地区…	(男)	<u>53</u> 人	(女)	<u>10</u> 人	小計	63 人
	<u>韮崎</u> 地区…	(男)	<u>1</u> 人	(女)	<u>    </u> 人	小計	1 人
	<u>龍岡</u> 地区…	(男)	<u>1</u> 人	(女)	<u>    </u> 人	小計	1 人
	<u>    </u> 地区…	(男)	<u>    </u> 人	(女)	<u>    </u> 人	小計	人
	<u>その他</u> …	(男)	<u>1</u> 人	(女)	<u>    </u> 人	小計	1 人
	合計	(男)	56 人	(女)	10 人		66 人

(1)テーマ： 穂坂地区工業用地造成事業について

**【事業経緯】**

東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社を始め、市内半導体製造装置部品メーカー等では、新たな生産設備や日々進化する製品の開発研究など、半導体の需要拡大に対応した積極的な設備投資に必要な新規事業用地の確保が急務となっており、その支援を市に強く要望しています。

韮崎市では、それら企業からの要望を受け「農村地域への産業の導入の促進等に関する法律」に基づく実施計画を変更し、穂坂地区工業団地の拡張による工業団地の造成事業を実施しております。

その整備については、当該区域を第1工区、第2工区に分け、先ず令和4年度に第1工区を先行して工事着手し、続いて令和5年度に第2工区の造成工事が行われます。

現在、第1工区の事業区域の一部拡大を行うための諸手続を行い、早期完成に向けて造成工事を進めております。

**【これまでの経緯】**

令和4年1月：拡張予定区域を1工区、第2工区に分け、まずは第1工区を先行することを決定

令和4年2月：農村地域への産業導入の促進等に関する実施計画を変更

令和4年4月：穂坂町各地区長への事業説明会を開催

令和4年8月：第1工区の事業用地に係る農地転用許可及び開発行為許可を受ける。

令和4年9月：第1工区の造成工事を着手（予定工期：令和4年9月から令和5年12月まで）

令和5年7月：第1工区の事業区域の一部を拡大するため、農地転用変更許可申請書及び開発行為変更許可申請書を提出

**【今後の予定】**

令和5年度中：第2工区の事業用地に係る農地転用許可申請書及び開発行為許可申請書を提出予定

第2工区の造成工事を着手予定（令和6年12月頃に工事完予定）



(1)テーマ： 穂坂地区工業用地造成事業について



## (2)テーマ： 定住施策について

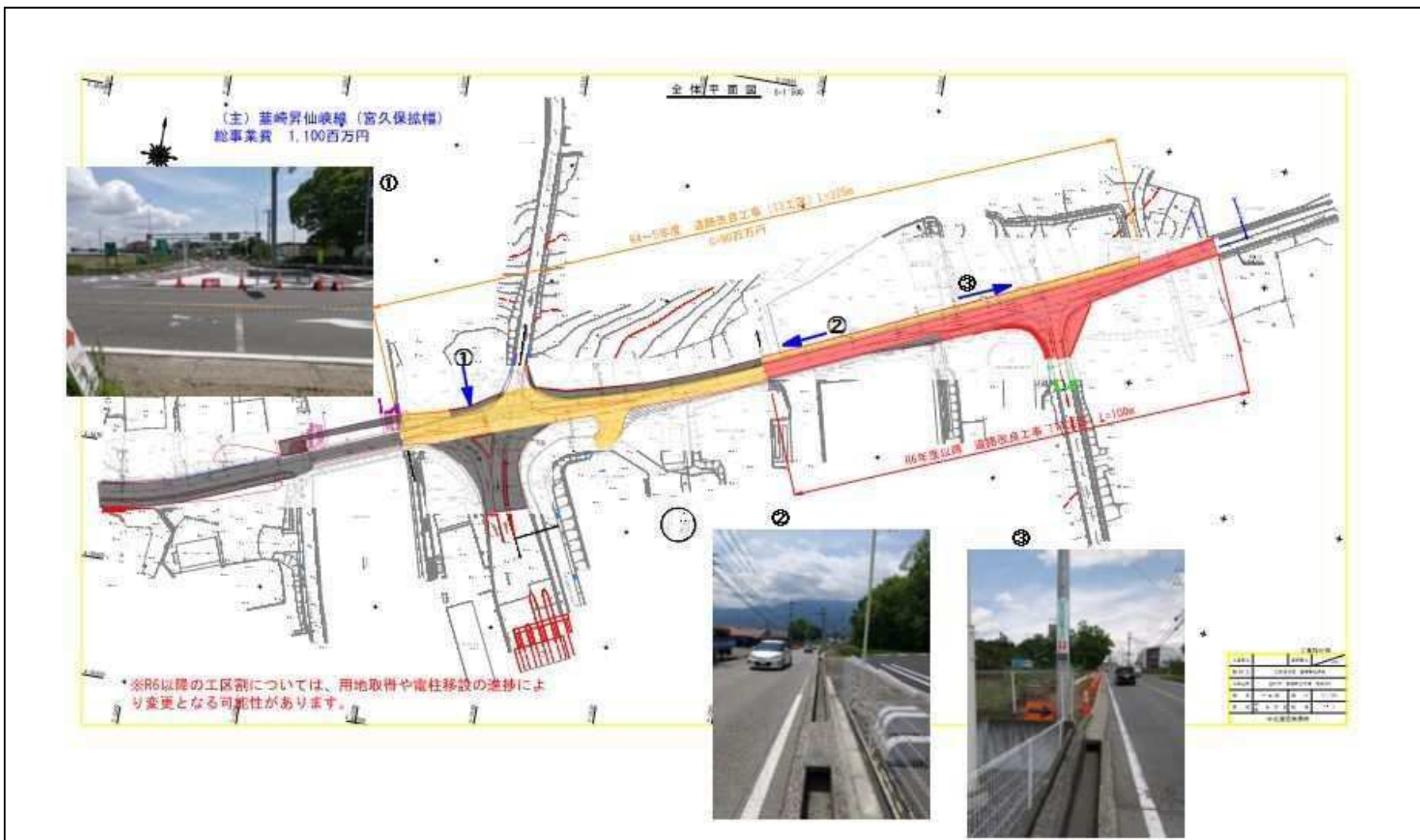
昨年度の住宅施策実現性調査業務において、市内の住宅建設戸数はここ数年戸建てが100戸程度・借家は30戸程度であります。戸建ての内、4割程度は市外からの転入世帯になります。業務内で子育て世代へのアンケート調査を行った結果、市内への定住希望者はそれ以上にいることから、住宅建設候補地を官民協働で確保する必要性があることを把握したところであります。

本年度は、水害等の危険性が少ない穂坂地区において、住宅整備可能性調査を委託し、整備に向けた事業手法・モデルプランの検討等を行い、具体的な候補地の選定を行います。事業展開をするにあたり、課題等もあると思われませんが、人口増加の一助に繋げてまいります。

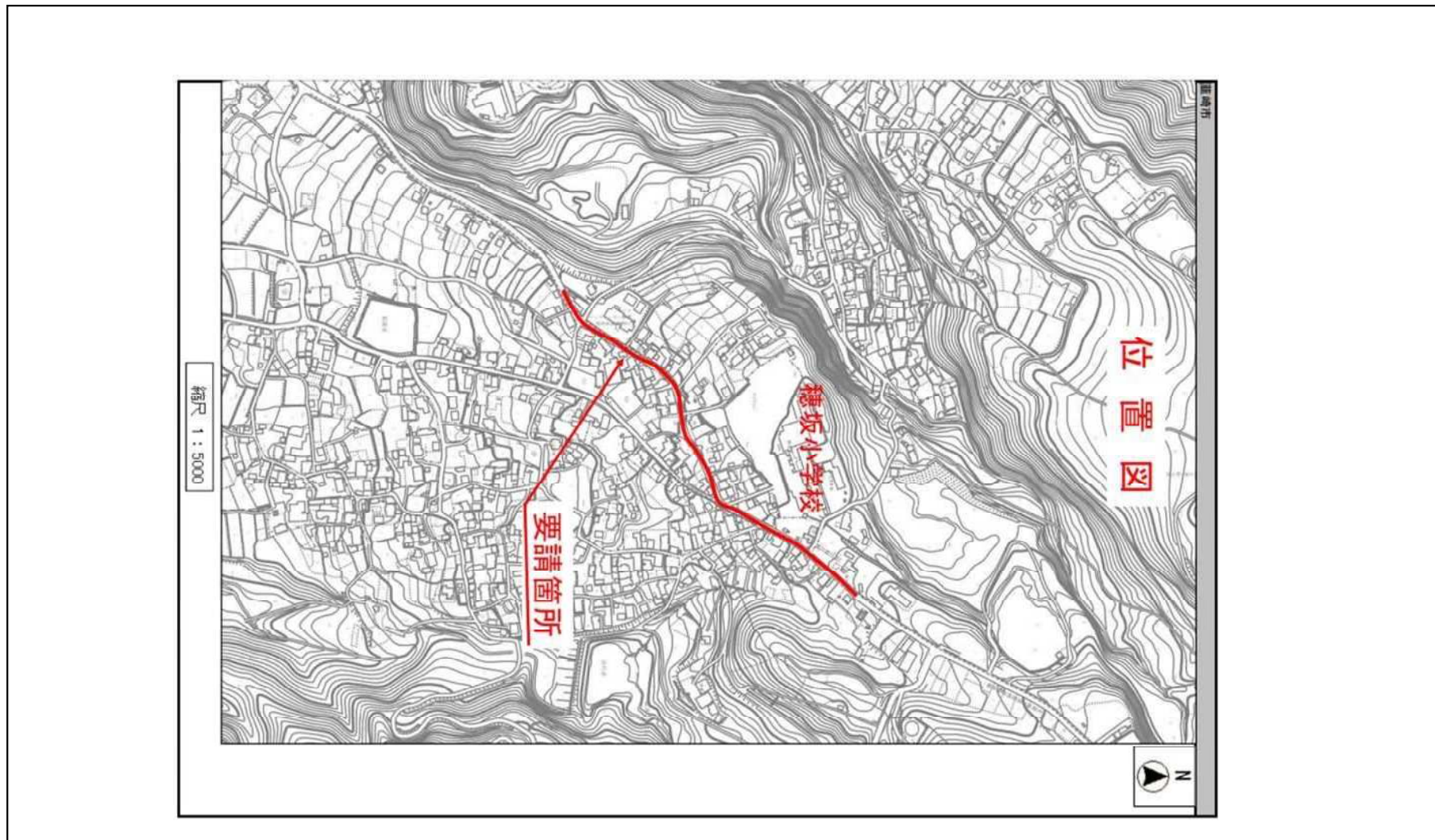
### ○業務委託内容

- ・候補地選定の基礎調査
- ・五箇所程度の候補地の選定
- ・候補地となる箇所の整備に向けた事業手法の検討
- ・候補地のモデルプランの検討(規模、区画数他)
- ・事業展開をするにあたり、課題等の整理

(3)テーマ： 主要地方道葦崎昇仙峡線(道路改良工事)について



(3)テーマ： 主要地方道葦崎昇仙峡線(道路改良工事)について (改修要望) L=約600m



#### (4)テーマ： 管理捕獲従事者等研修施設の整備について

##### 管理捕獲従事者等研修施設の整備について

###### 【整備場所】



###### 【施設概要案】

###### ①研修・管理棟

- ・講師控え室、事務室、倉庫、トイレ、給湯
- ・研修室50人程度1室とし、パーティションで分割可能な構造
- ・わな猟等の実践研修（実践研修に利用可能な森林）
- ・土間（コンクリート床面の作業スペース）

###### ②ライフル射撃場

- ・距離100m（100m地点に静的標的、50m地点に動的標的）5射座
- ・安全性、防音性に優れた覆道式

###### ③駐車場

- ・60台程度

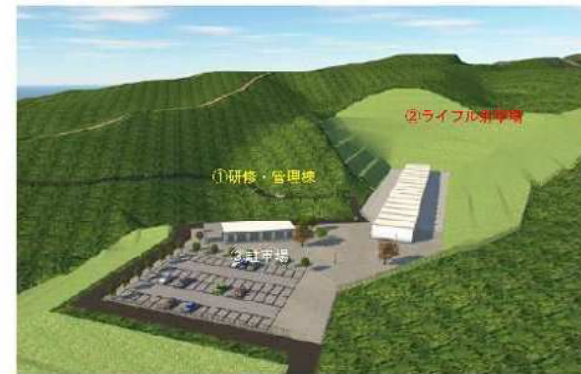
###### 【概算工事費】

- ・約1.6億円

###### 【全体スケジュール】

- ・測量開始から7～8年間で予定（R10～11に完成予定）

環境・エネルギー部  
自然共生推進課



鳥瞰バス（南東側より） 事業面積41,000㎡

###### 【施設概要レイアウト図案】

###### 【①研修・管理棟レイアウト図】計202㎡



###### 【②ライフル射撃場レイアウト図】計1,296㎡



No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
①	<p>定住施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・穂坂地区が他と比べてどういう点で魅力があるのか</li> <li>・どんな点がアピールできるのか</li> </ul>	<p>・穂坂町に住んでみたいという民間の調査結果に基づき、いろいろな角度から本市のポテンシャルを広くPRしています。市民交流センター「ニコリ」地下にある青少年育成プラザ「ミアキス」では、県外に進学した学生が本市の良さをPRする取り組みも行っています。</p> <p>・地盤が安定している。浸水する危険性がない。日照条件が良い。景観が素晴らしいなどがアピールできます。</p>
②	<p>穂坂地区工業用地造成事業について東京エレクトロンに地元に対し何か貢献して頂きたい声があることを是非伝えて頂きたい。</p>	<p>多額の法人市民税の納税と東京エレクトロン蕪崎文化ホールのネーミングライツ料として年600万円を頂いており、また、市内小中学校に高額な教育備品を寄贈していただきました。要望等は今後検討してまいります。</p>
③	<p>東京からの移住者だが、穂坂を気に入っている。景色も良く、空気もきれい、皆さんが優しい、移住者の声を聴く機会を設けて頂きたい。</p>	<p>これまでコロナ禍にあって地域の催しが殆どできませんでしたが、これからは地域のイベントや催しものが開催されますから、積極的に移住者の方々の意見も拝聴しその意見を地域づくりに繋げて行きたいと思えます。</p>
④	<p>定住施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地選定後、造成をして住宅を建設するまでには長期間を要するが、即効性のある施策を要望。</li> </ul>	<p>スピード感を持って施策を実行していくことは当然であります。本年度市では、住宅整備候補地選定調査業務を実施しているため、今後事業推進していくには、地権者の協力が得られるかによりかかる時間は変わると考えられます。</p>
⑤	<p>議会報告会の開催時期について検討をお願いしたい。</p>	<p>今回は、秋の市議会議員選挙を控えており、例年より1ヵ月早く開催しました。ご了承願います。</p>

No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
⑥	工業用地造成工事等の工事車両により、道路の損傷が激しい状況であるが、道路改修の計画は如何か。	道路の痛みの激しい箇所においては、道路管理者において応急対応をしていただいているところであります。今後、造成、工場建設工事等の状況を確認しながら、安全な道路整備をしていただけるよう、県及び市の道路関係機関へ要望して参りたいと思います。
⑦	上ノ山、穂坂工業団地には何社ぐらい立地していて従業員数は。	上ノ山、穂坂工業団地には7社が操業しており、従業員数は約460名であります。
⑧	自治会改革について、一昨年、自治会改革検討委員会が設置され、3つの柱を盛り込んだ提言書が市に提出されましたが、その内容と今後の展開はどのようになるのか。	地域づくりの根幹は自治会組織であります。全国的に自治会の加入率低下や役員の成り手不足が課題となる中、韮崎市でも自治会の負担軽減のための見直しが必要となり、検討委員会を立ち上げ、延べ6回の議論を重ね、役員の選出方法等や、会議の見直しでは、日中では参加が難しいので夜間開催の検討、ICTやLINE・メールの活用等の様々な意見が出たと伺っています。これらの意見を踏まえ、「区長等役員の負担軽減を図る業務内容のスリム化」「役員等への女性や若い世代等幅広い層の登用」「自治会活性化に向けた運営や活動の見直し」の3つの観点から、令和5年3月に提言がありました。今後、庁内で横断的な検討を行い、地区長連合会とも協議し、可能な事業から進めていくこととなります。お配りしてある自治会ハンドブックを参考に自治会活動に取り組んでいただき、安心安全な住み良い地域づくりにご尽力いただければと願っています。
⑨	各自治会に都合があるので、それぞれの自治会で検討して、任せてもらえるのか。	市では負担軽減となる方向性を示していきますが、自治会の地域事情もあり、踏み込めないものもあるので、地域の実情に応じた対応をしていただきたいと思います。
⑩	市民に周知するため、検討委員会の結果や内容などをホームページに掲載してほしい。	広く市民に周知できるよう、市に要請してまいります。

— 令和5年度 第14回「議会報告会」の開催状況の報告 —

【 北東 】地区

■報告会期日： 令和5年7月5日(水)

■開催場所： 穴山町ふれあいホール

■参加者：	<u>穴山</u> 地区…	(男)	<u>14</u> 人	(女)	<u>1</u> 人	小計	15 人
	<u>中田</u> 地区…	(男)	<u>6</u> 人	(女)	<u>  </u> 人	小計	6 人
	<u>藤井</u> 地区…	(男)	<u>8</u> 人	(女)	<u>  </u> 人	小計	8 人
	<u>葦崎</u> 地区…	(男)	<u>1</u> 人	(女)	<u>  </u> 人	小計	1 人
	<u>その他</u> …	(男)	<u>2</u> 人	(女)	<u>  </u> 人	小計	2 人
		合計	(男) <u>31</u> 人	(女) <u>1</u> 人			32 人



令和5年度「議会報告会」地区テーマの概要

【北東】地区

(1)テーマ：農業基盤整備事業の進捗状況について

畑地帯総合整備事業 穴山地区

事業の進捗状況

進捗率

○総事業費	2,178,000 千円		
○事業工期	平成27年～令和6年		
OR4まで事業費	1,203,000 千円		55.2%
OR4まで事業量			
・用排水路	824 m/	3,470 m	23.7%
	( 6 路線/	13 路線 )	
・農道	333 m/	1,880 m	17.7%
	( 1 路線/	6 路線 )	
・ほ場整備	12.5 ha/	27.1 ha	46.1%
	( 2 工区/	4 工区 )	
・ため池	3 箇所/	3 箇所	100.0%
・集落排水	1,141 m/	2,000 m	57.1%
	( 3 路線/	8 路線 )	
OR4まで事業費(工事費のみ)			
・用排水路	42,778 千円/	234,700 千円	18.2%
・農道	94,612 千円/	230,700 千円	41.0%
・ほ場整備	602,697 千円/	719,501 千円	83.8%
・ため池	266,776 千円/	266,776 千円	100.0%
・集落排水	72,756 千円/	221,000 千円	32.9%

令和5年度

県営土地改良事業等執行管理表

様式2

担当	中北農務事務所 農業基盤第2担当				事業名	畑地帯総合整備事業				地区名		穴山地区								(単位:千円)		
	費目	執行区分	測量設計	協議等		用地買収補償	事業量	事業費内訳			契約予定日	令和5年									令和6年	課題・対応方針
								R4当初繰越	R4 12月補正	R5 予算		4	5	6	7	8	9	10	11			
工事		1工区区画整理工事その4	○	○	○	A=5.9ha	34,340	34,340			R4.8.9										(総合評価)	
		2工区区画整理工事	○	○	○	A=1.2ha	16,200		16,200		R4.9.27										(総合評価)	
		農道4号改良工事	○	○	○	L=250m W=4.0m	14,490	1,000	13,490		R4.10.4										(総合評価)	
		1工区区画整理舗装工事その1及び2工区区画整理舗装工事	○	○	○	L=800m W=4.0m	15,000		10,310	4,690	R5.9.30										(総合評価)	
		1工区区画整理舗装工事その2及び農道4号舗装工事	○	○	○	L=800m W=4.0m	15,000		10,000	5,000	R5.9.30										(総合評価)	
		集落排水3号改修工事	○	○	×	L=87m W300×H500	20,000		20,000		R5.9.30											
		小計					115,030	35,340	70,000	9,690												
	委託		農道1号測量設計用地調査業務委託					6,700	6,700			R4.9.15										
		農道6号測量設計用地調査業務委託					13,100	13,100			R4.9.30											
		農道1号測量設計用地調査業務委託その2					10,000		5,000	5,000	R5.7.30											
		農道3号測量設計用地調査業務委託					10,000			10,000	R5.8.30											
		用排水路2号測量設計用地調査業務委託					15,000			15,000	R5.8.30											
		小計					54,800	19,800	5,000	30,000												
用地		集落排水3号					10,000		10,000		R5.7.30											
							0															
							0															
							0															
		小計					10,000	0	10,000	0												
補償		区画整理1, 2工区					4,860	4,860			R5.7.30											
							0															
							0															
		小計					4,860	4,860	0	0												
換地		1,2工区					5,310			5,310	R5.5.30											
		小計					5,310	0	0	5,310												
文化財調査							0															
		小計					0	0	0	0												
	合計					190,000	60,000	85,000	45,000		凡例											
	上半期執行額						60,000	85,000	45,000													
	上半期執行率						100.0%	100.0%	100.0%													



農業競争力強化基盤整備事業  
農地整備事業(畑地帯担い手支援型)  
穴山地区 計画平面図

事業概要	
用排水路	13箇所 L=3,470m
農道	6箇所 L=1,880m
区画整理	4箇所 A=27.1ha
ため池	3箇所
集落排水路	8箇所 L=2,000m
受益面積	A=55ha
事業費	約19億円

1工区区画整理舗装工事その1及び2工区区画整理舗装

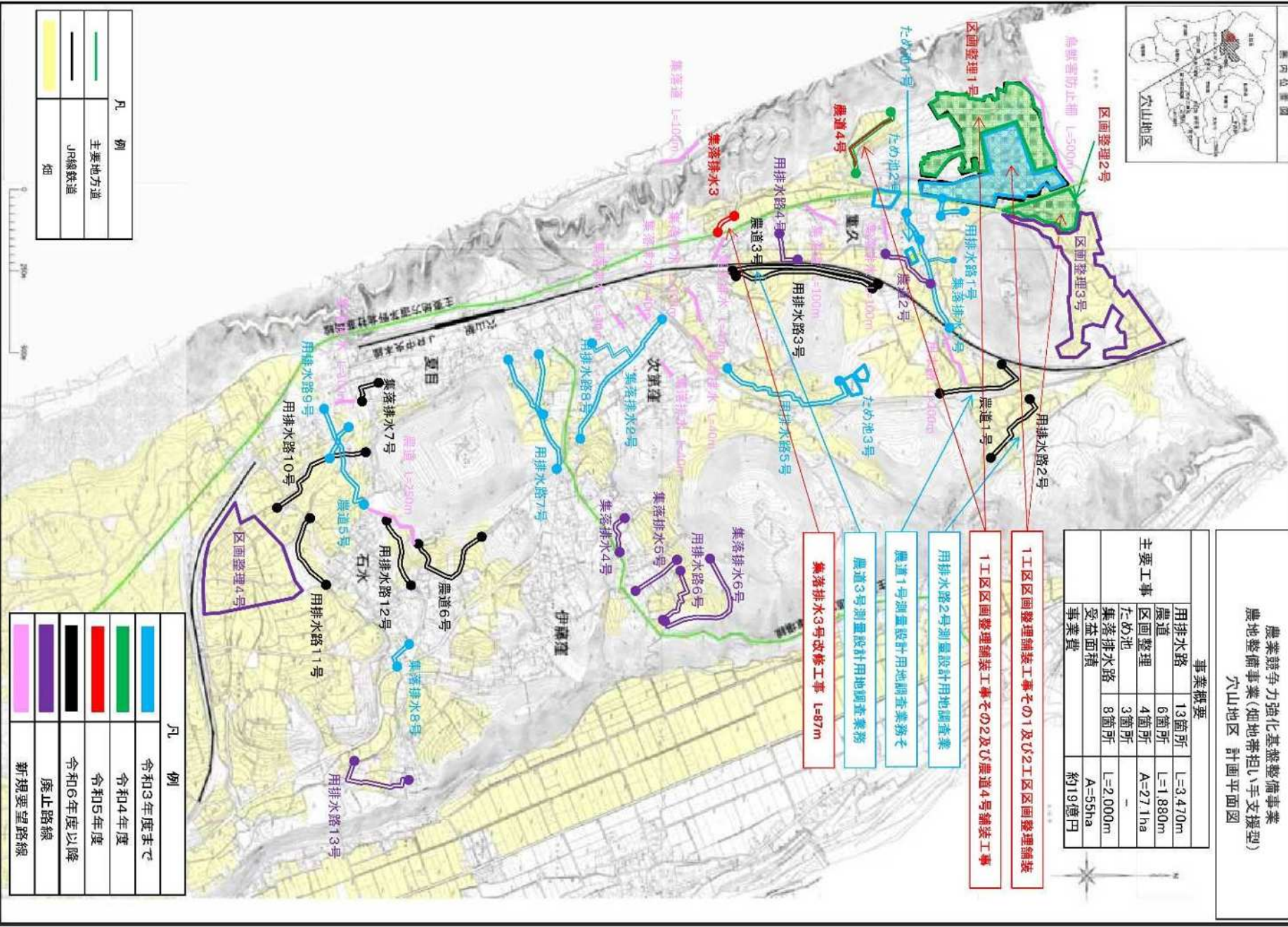
1工区区画整理舗装工事その2及び農道4号舗装工事

用排水路2号測量設計用地調査業

農道1号測量設計用地調査業務

農道3号測量設計用地調査業務

集落排水3号改修工事 L=87m



凡 例

	主要地方道
	JR線鉄道
	畑



凡 例

	令和3年度まで
	令和4年度
	令和5年度
	令和6年度以降
	廃止路線
	新規要望路線

(2)テーマ： 中田町地内の新府バイパス、市道(穴山)5号線の道路整備進捗状況について

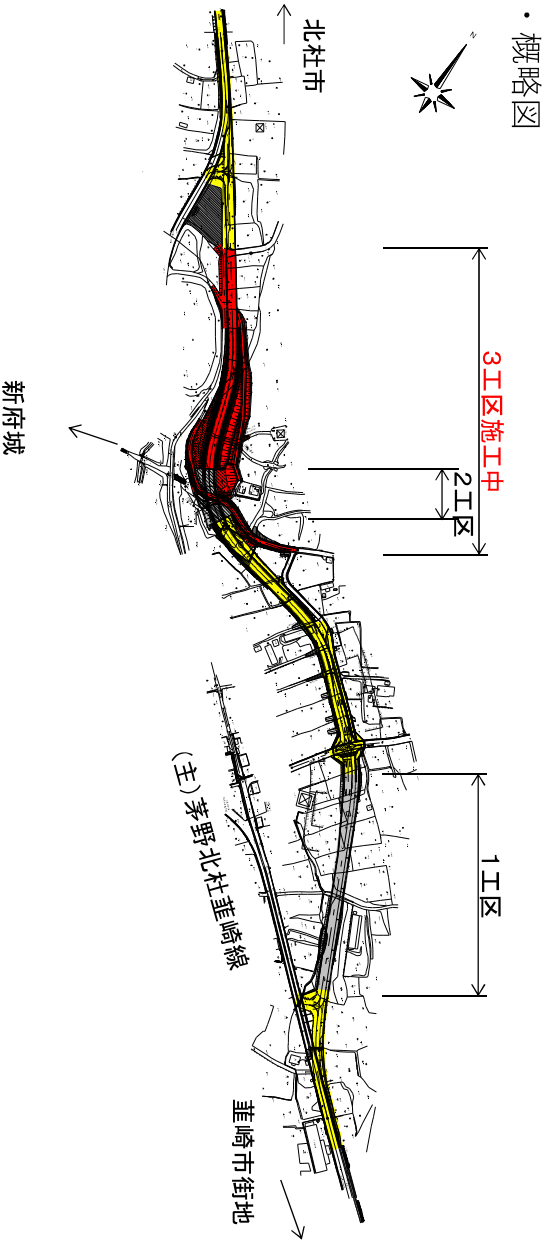
・中田町地内の新府バイパス整備進捗状況について

・事業概要  
主要地方道茅野北杜韮崎線は長野県茅野市から韮崎市を結ぶ主要幹線道路である。当該箇所は大型車を含めた自動車の交通量が多い区間となっているが、幅員が狭く線形も悪いことから交通の隘路となっている。また、当該箇所は国指定新府城跡にあり、韮崎市の遺跡保存整備計画においては県道の迂回が求められている箇所でもある。付近の穴山バイパス、青坂バイパスが供用開始したことにより、より一層交通量の増加が見込まれることから、早急な整備が必要となる。

・進捗状況  
令和4年度までに、終点側の約180mの道路工事で中央部のボックスカルバート工約45mが完了したところです。  
現在は、昨年度からの繰越工事でボックスカルバートより北杜市側の道路工約185mの工事を進めているところです。

・完成目途  
令和8年度の完成を目標に事業を進めています。

・旧道の今後の取り扱い  
県による新府バイパス供用開始後、市において譲与を受けて管理することになります。



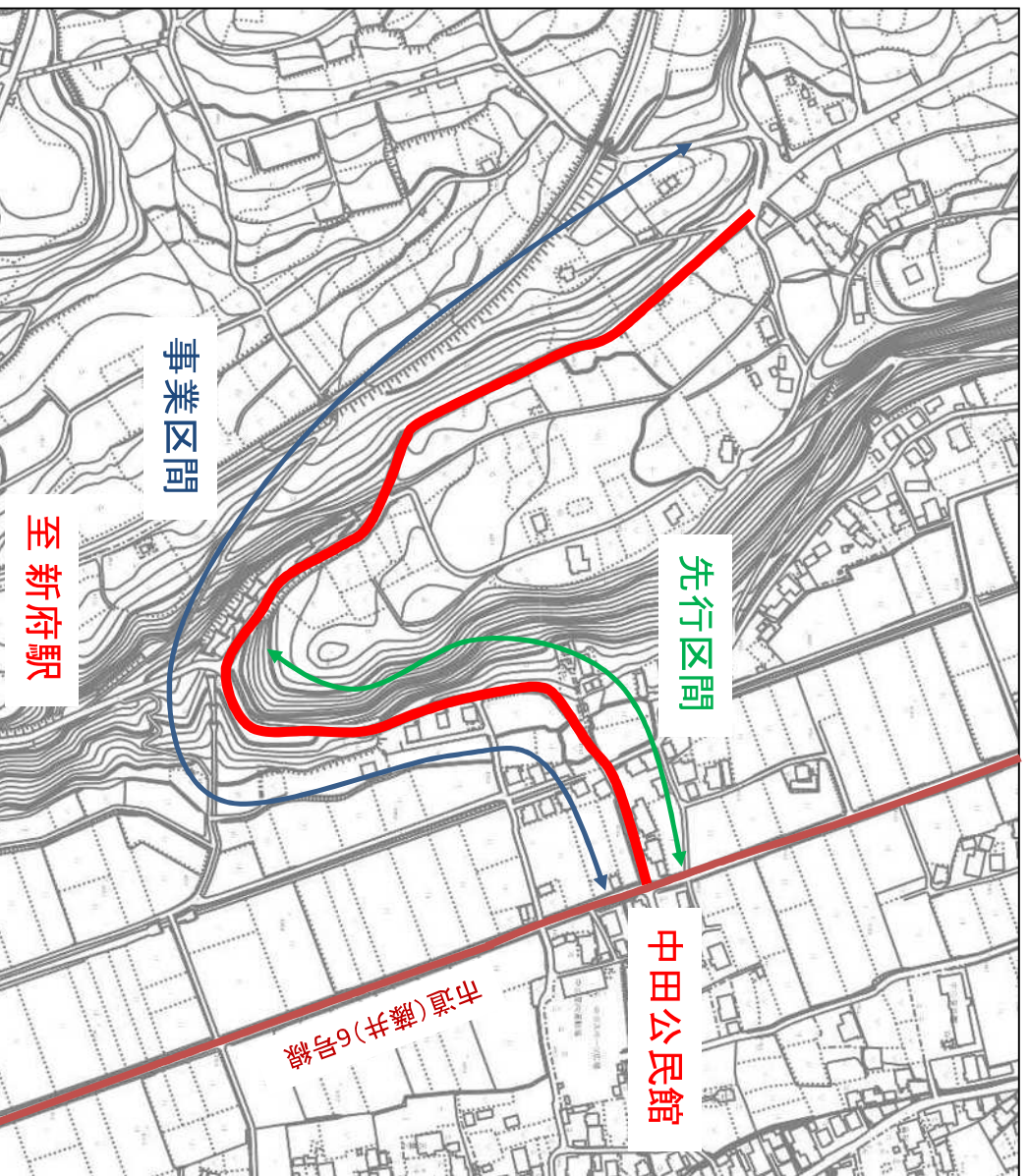
(2)テーマ： 中田町地内の新府バイパス、市道(穴山)5号線の道路整備進捗状況について

・市道(穴山)5号線の道路整備進捗状況について

- ・事業概要  
市道(穴山)5号線は、主に穴山地区と中田地区の地域住民の生活道路として利用されている道路です。  
事業区間にあつては、幅員狭小箇所や視認距離が確保できない箇所があるため、道路拡幅改良による、アクセス向上、北東小学校のスクールバスの通学の安全性確保を目的に計画された道路です。(L=820mを幅員W=7.0mに拡幅)

- ・本年度の事業詳細  
昨年度からの繰越事業として、中田公民館西の市道(藤井)6号線交差点から新府駅へ向かう三差路まで(先行区間)の詳細設計業務を実施中です。  
詳細設計完了後、上記区間の関係地権者との用地、物件補償契約を実施する予定です。

- ・今後の整備計画  
本年度からの関係地権者との用地、物件補償契約の状況により、契約完了区間から順次拡幅改良工事を実施し、まずは、先行区間の整備を進め、完了後、三差路から北側道路の整備を実施する予定です。(令和10年度完成予定)



(3)テーマ：国道141号線(中田町地内)の横断歩道設置及び国道17号線へのアクセスの改善・整備について

・国道141号から国道17号茅野北杜韭崎線へのアクセスの改善及び整備について

藤井地区から七里岩台上へのアクセスにつきましては、国道17号茅野北杜韭崎線の道路改良済みである(通称青坂バイパス)を利用することのほか、市道(藤井)9号線(通称ガニ坂)を通行するのが最短ルートであります。しかしながら、市道(藤井)9号線は、勾配がきつくと、カーブが多い上、狭隘であることから、大型バス等の通行がしづらい状況であります。

市といたしましても、東京エレクトロン(株)等への通勤時間帯、韭崎中央公園イベント開催時の渋滞解消に向けた、現道拡幅や新たな道路整備等によるアクセス改善の必要性を感じています。

しかしながら、現在、具体的な対策案が示せる状況ではありませんので、引き続き、調査、研究してまいります。

(3)テーマ：国道141号線(中田町地内)の横断歩道設置及び県道17号線へのアクセスの改善・整備について

#### ・国道141号線(中田地内)の横断歩道設置について

中田町中條地区では、ゼンインレゾン韮崎中田店付近の国道141号線への横断歩道設置等が長年の懸案事項となっております。繰り返し市への要望活動を行ってきましたが、甲斐警察署の回答は変わらず課題解決に至っていません。

#### 【地区の要望活動と内容】

○令和3年8月26日 中田町代表区長(中條1区長)、韮崎小学校PTA会長、同校長などの連名で市に要望書提出

「韮崎北東小学校児童通学路へのガードレール・横断歩道及び信号機の設置について」  
「韮崎北東小学校児童通学路として国道141号線沿いの横断歩道の無い場所を横断し、登下校を行っています。当該国道は非常に交通量が多いうえにガードレール・横断歩道・信号機が無く、大変危険な状態です。子供たちの安全確保及び事故防止から等から、ガードレール・横断歩道及び信号機設置を要望するものです。」

○令和5年4月 中條1区長名 市への要望

「国道141号線の横断歩道設置について」

当地区の国道東側には、近年新築世帯が増加しており、北東小や幼稚園に通う児童・園児が10人程います。町内を東西で分断するのが国道141号線であり、新興住宅街と中條旧町内との往来や、西側からコンビニに買い物する客など横断者が多くなると共に、昨今の交通量の増加で国道の横断に危険を感じるものは少なくありません。全区長からの要望でもあり、横断歩道の設置を区民総意の下として至急要望します。

- 要望理由
- 1 通園・通学のコースである。
  - 2 町内唯一の買い物の場所(コンビニ)として利用している。
  - 3 数年前、死亡事故が発生している。
  - 4 近年、交通量が増加して渡るまでの待ち時間が長い。

※平成30年7月13日にも地区で要望。

令和4年6月議会で地元議員が一般質問で取り上げました。

#### 【市の設置要望に対する甲斐警察署の回答】

当該箇所は、バス停付近であり、バスの停車時には車両から歩行者が見え難い状況です。バス停付近に横断歩道及び信号機を設置する場合は、停車状態のバス車両の前後15m～20m以上の間隔が必要となります。

令和3年数日間、当該箇所での国道141号線を横断する利用者の調査をしましたが、その際、利用者は0人でした。

また、南側は緩いカーブとなっていて見通しが悪い道路形状のため、横断歩道及び信号機の設置は困難であります。

#### 【今後の行動】

地区及び関係者と、バス停の移動を含め甲斐警察署への要望を行う。



(4)テーマ：消防団の今後について

全国的に消防団員の不足の問題を抱えており、本市も例外でない状況であります。令和3年4月13日付けで消防庁長官から「消防団員の処遇改善要請の通知」が発出され、具体的に次の3点を改善するように要請されました。

- (1) 団員報酬の引上げ
- (2) 出勤報酬の創設
- (3) 団員個人への直接支給

市として、団員確保等の課題解決に向け、要請に応えるべく、対応を進めてきました。

- ・ 出勤報酬 → 令和5年4月1日施行
- ・ 直接支給 → 令和4年度から実施（口座情報・マイナンバー登録など実施）

なお、団員報酬の引上げについては、幽霊団員や欠員等の理由により、条例定数と活動している実員数に乖離があることから、まず、昨年度から今年度に掛けて消防団員自らが主体となって協議し、令和6年4月1日に組織再編をします。

※下表のとおり当該地区においては定数の見直し。

現在の状況					確定再編(案)					
部名	管轄地区	部長	班長	団員 合計	部名	管轄地区	部長	班長	団員 合計	比較
藤井分団第1部	駒井	1	1	13	藤井分団第1部	駒井	1	1	13	0
藤井分団第2部	上野	1	1	8	藤井分団第2部	上野	1	1	6	-2
藤井分団第3部	坂井	1	1	8	藤井分団第3部	坂井	1	1	8	0
藤井分団第4部	北下條	1	1	8	藤井分団第4部	北下條	1	1	8	0
藤井分団第5部	南下條	1	1	8	藤井分団第5部	南下條	1	1	8	0
藤井分団第6部	相笠、蔵之凱、道下	1	1	13	藤井分団第6部	相笠、蔵之凱、道下	1	1	12	-1
藤井分団第7部	総見堂、鳥居	1	1	8	藤井分団第7部	総見堂、鳥居	1	1	8	0
藤井分団合計		7	7	66	藤井分団合計		7	7	63	-3
中田分団第1部	中條1区、中條2区、中條3区	1	2	15	中田分団第1部	中條1区、中條2区、中條3区	1	1	11	-5
中田分団第2部	中條4区	1	1	10	中田分団第2部	中條4区	1	1	8	-2
中田分団第3部	小田川5区、小田川6区	1	1	13	中田分団第3部	小田川5区、小田川6区	1	1	12	-1
中田分団合計		3	4	38	中田分団合計		3	3	31	-8
穴山分団第1部	石水、夏目	1	2	15	穴山分団第1部	石水、夏目	1	2	13	-2
穴山分団第2部	伊藤窪、久保	1	2	12	伊藤窪、久保	伊藤窪、久保	1	2	10	-2
穴山分団第3部	次鷲窪、重久	1	2	15	穴山分団第3部	次鷲窪、重久	1	2	11	-4
穴山分団合計		3	6	42	穴山分団合計		3	6	34	-8

今年度中に、団員報酬の引上げにむけた庁内協議を実施し、同じく令和6年度に引上げができるよう、準備を進めています。



参考：県内27市町村の状況（令和5年6月1日現在）

(1) 団員報酬の引上げ

元々基準額以上	令和4年度 引上げ	令和5年度以降 引上げ予定	対応予定なし
1	8	18(韮崎市)	0

(2) 出勤報酬（出勤手当）の創設・引上げ

元々基準額以上	令和4年度 引上げ	令和5年度以降 引上げ予定	対応予定なし
1	3(韮崎市)	23	0

(3) 支給方法

個人支給	分団支給
24(韮崎市)	3

寄付行為について

山梨日日新聞の6月10日の紙面で取り上げられておりますが、韮崎市消防団条例第11条第7項には、次のとおり定められています。

韮崎市消防団条例（抜粋）

第11条 団員は、次の事項を遵守しなければならない。

(7) 団又は団員の名義をもって、みだりに寄附金を募り、又は営利行為をなし、若しくは義務の負担となるような行為はしないこと。

消防組織法に基づき市町村が条例で設置しているため、団の維持管理に必要な経費は市が予算化して負担しなければならぬこととなります。これにより、各分団詰所やポンプ車や可搬ポンプをはじめ、法被や活動服など団の活動に必要で一すべきものの、また、車検や燃料費など維持管理費や運営に密接に関わるため、しかし、消防団はその歴史や性質上、地区の行事や活動に密接に関わるため、そういう部分での費用が、地区などからお金を要求する（寄付金を募る）ことは、条例に基づき止めるように周知しておりますが、他の方法については止めさせざる根拠または、認め根拠がないため、市からは要請しておりませんが、ご理解いただきたくとも、団員確保に向けて地域が一丸となつて取り組む又はご支援いただきますようお願いいたします。

(5) テーマ：市道の通学路の整備について

・北東小学校の児童の通学路について

北東小学校周辺の集落内道路は、通勤車両の抜け道として利用されており、通学路の安全対策が必要であると考えております。  
これまで、通学路における危険箇所につきましては、外側線、路面標示等の注意喚起を実施してきたところがありますが、引き続き、ハットロールを実施するとともに、通学路安全推進会議における要望箇所、地域住民等からの情報提供により安全に通行できるよう努めてまいります。



市道(藤井)108号線



市道(藤井)53号線



市道(藤井)58号線



市道(藤井)5号線



市道(藤井)2号線

No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
①	国道141号線(中田地内)の横断歩道設置要望について甲斐警察署の回答はいつも困難とのこと。調査内容にも不満があるが地域全体で改善策に取り組むことが必要と考えるがいかがなものか。	地区及び関係者と、バス停の移動を含め甲斐警察署への要望を行ってまいります。
②	新府バイパス完成後の駐車場として現道路を活用したらどうか。	県による新府バイパス供用開始後、市に管理移管されますので、その際には、関係部署と協議しながら利用方法について検討してまいります。  (建設課)
③	消防団の寄付についてなくなると活動ができなくなるので条例の整備を考えて欲しい。また、消防団は地域になくてはならないし新年度には困る状況なので早くに活動が出来るようにして欲しい。	条例の整備は、上位の法律の内容と相反する可能性があるため困難であると考えますが、消防団活動がしやすい環境を整えるため、他の自治体の対応状況を含め調査研究してまいります。  (総務課)
④	消防団の寄付について明確な線引きを付けて欲しい。	消防庁及び山梨県からは法律のとおりであるため、線引きは行わないとの回答がありました。できる限り相談には乗りますので、ご理解いただきたく存じます。  (総務課)
⑤	市道藤井2号線に速度抑止対策に取り組んで欲しい。	通学路における危険箇所につきましては、外側線、路面標示等の注意喚起を実施してきたところでありますが、通学路安全推進会議における要望箇所、地域住民等からの情報提供により安全に通行できるよう努めてまいります。  (建設課)

No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
⑥	<p>農業競争力強化基盤整備事業の新規要望路線について今後の予定について伺います。</p>	<p>令和5年度に事業計画の変更に向けて準備をし、路線の廃止や追加の精査を行います。県にて要望路線の現状と受益地の確認を行い追加できるか判断をします。ただ、追加できない路線も出てきます。そして、令和6年度に事業計画の変更に伴い追加路線も含めた全路線の全地権者2/3以上の同意の取得が必要となります。変更に伴い、事業期間の延長と路線の変更を行います。</p> <p style="text-align: right;">(建設課)</p>

— 令和5年度 第14回「議会報告会」の開催状況の報告 —

【 北西 】地区

■報告会期日： 令和5年7月4日(火)

■開催場所： 清哲会館

■参加者：	<u>円野</u> 地区…	(男)	<u>15</u> 人	(女)	<u>    </u> 人	小計	15 人
	<u>清哲</u> 地区…	(男)	<u>11</u> 人	(女)	<u>    </u> 人	小計	11 人
	<u>神山</u> 地区…	(男)	<u>5</u> 人	(女)	<u>    </u> 人	小計	5 人
	<u>    </u> 地区…	(男)	<u>    </u> 人	(女)	<u>    </u> 人	小計	人
	<u>その他</u> …	(男)	<u>3</u> 人	(女)	<u>    </u> 人	小計	3 人
	合計	(男)	34 人	(女)	人		34 人

(1) テーマ： 人口減少対策について

1. 韮崎市の将来人口の見通し

本市の人口は2005（平成17）年より減少傾向で推移しています。

国立社会保障・人口問題研究所による推計では、この減少傾向が続き、高齢者人口も増加すると予測されております。

第2期韮崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、基本目標・横断的な目標にそった各種人口減少対策を推進することで、2030年（令和12）年に26,000人、2045（令和27）年には20,800人を確保し、持続可能な社会・経済活動の維持を目指すため、人口ビジョンを策定しています。

2. 目指すべき将来の目標人口の前提条件

\* 合計特殊出生率は、徐々に増加して、2035（令和17）年に1.80に達すると想定する。

\* 社会減は、段階的に（2020（令和2）年の社会減を基準に毎年25%程度）解消し、2040（令和22）年には、転入・転出数が均衡すると想定する。

3. 人口減少抑制と地方創生を実現するためには合計特殊出生率の向上や健康寿命を延ばすことによる自然動態の改善と、市外転出の抑制やUIJターンによる社会動態の改善が必要です。

4. 人口減少対策取り組み例

\* 安価な「子育て支援住宅」を建設し、子育て世代の移住促進の取組。

\* 中山間地域への移住促進への取組。

・中山間地域の空き家バンク情報を提供する取組。

・中山間地域移住者用住宅改修事業への補助金交付制度を創設する取組。

\* 家族ぐるみ政策（家族手当、多子家族支援手当、新学年手当、乳幼児手当）

\* 跡取り政策（税制優遇・免除・減免、農振除外優遇、住宅新築等支援金）

(2) テーマ: 主要地方道葦崎南アルプス中央線の交通安全対策について

(清哲区長会より問題提起を受け、道路の管理者である山梨県中北建設事務所・峡北支所道路課と協議を行った)

問題 地域住民の生活主要道路であるが、交通量が多く制限速度以上で走る車が多いため、子どもから高齢者、住民が道路を利用するのに危険が多い。特に、御杉、中谷、青木地区は道路と人家が隣接している箇所が多く大変危険である。

状況 ① 県では、朝夕に限らず交通量が多い事を把握している。  
② 利用車両は会社への通勤者と営業車が主である。

要因 ① 国道20号線と並行していて、円野町下円井から神山町武田地区まで信号機がなくほぼ直線で止まることなく通行できる。

解決策 ① 信号機の設置  
② 様々な注意の喚起の表示や標識の設置  
③ 山梨県甲斐警察署交通課の協力を得る  
(山梨県甲斐警察署交通課企画規制係に地域の要望などに基づき、一斉の取り締まりなどを実行し、交通量の緩和、スピードの抑制につなげていくという話を頂く)

日々直面している地域の安全に関わる事なので、住民全体で問題意識を共有し、安全で安心した地域づくりをしたいと考えます。

(3)テーマ：耕作放棄地について  
農地利用状況調査結果について

(1) 農地区別調査結果

農地区分		R2	R3	R4	R3からの増減
荒廃農地 A	筆数	3,713	3,233	2,891	-342
	面積 (㎡)	1,476,163	1,268,268	1,118,548	-149,720
荒廃農地 B	筆数	7,360	7,076	7,099	23
	面積 (㎡)	3,381,280	3,179,385	3,156,795	-22,590
合計	筆数	11,073	10,309	9,990	-319
	面積 (㎡)	4,857,443	4,447,653	4,275,343	-172,310

荒廃農地の区分

荒廃農地A : 抜根・整地等により再生することで通常の農作業による耕作が可能になると見込まれる土地

荒廃農地B : 森林・原野化等、農地に復元して利用することが困難と見込まれる土地

(2) 令和4年度調査 町別内訳

町名	荒廃農地 A						対前年比 (面積) (%)	荒廃農地 B						対前年比 (面積) (%)
	R2		R3		R4			R2		R3		R4		
	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)		筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)	筆数	面積 (㎡)	
円野	193	67,179	145	47,293	127	34,553	73	445	154,370	390	134,314	390	133,069	99
清哲	318	132,714	195	89,169	136	75,327	84	452	171,140	432	160,143	409	151,964	95
神山	238	90,071	196	74,196	156	56,312	76	609	231,684	592	219,917	580	212,204	96
合計	749	289,964	536	210,658	419	166,192	79	1,506	557,194	1,414	514,374	1,379	497,238	97

主な農地関係の事業

課	事業名	年度予算 (単位：千円)			
		R5	R4	R3	R2
産業観光課	中山間地域等直接支払事業	28,111	27,966	27,244	27,747
建設課	多面的機能直接支払事業	40,993	41,697	40,688	38,295
建設課	県営中山間地域総合整備事業 (円野、清哲、神山地区)	68,305	62,000	45,000	54,000
産業観光課	新規就農者支援事業	12,000	9,000	10,500	10,500
農業委員会	農地中間管理機構集積支援事業	3,366	4,907	5,628	6,126
産業観光課	農地中間管理事業	5,588	3,556	4,751	7,646



No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
①	<p>農地関係の事業担当について市の担当が産業観光・建設課・農業委員会と分かれているが、窓口を一本化して欲しい。</p>	<p>・建設課の農林土木担当は、平成29年度まで、農林行政の組織内でありましたが、平成30年度から、建設課に移管したところであります。市道、農道の道路行政や、河川、水路の河川行政に関する窓口を一本化し、相談に訪れる市民または業者の手続時間の短縮、業務効率の観点から、配置換えを行っております。建設課建設土木担当と農林土木担当の業務は、相関関係にあるため、現在の組織編成にご理解をお願いします。</p> <p>なお、農業政策、振興部分で類似する事業が、建設課、産業観光課で分かれている件につきましては、両課は、同じフロア(2階)で、隣接しておりますので、各手続き時において、一緒に対応するなどの連携を図ってまいります。また、農業委員会については、農地法に基づく、農地に関する事務を執行する一つの行政委員会として設置することになっております。</p>
②	<p>獣害問題について柵を超えて住み着いてしまった獣の対策をどうするか。</p>	<p>現状では猟友会の協力のもと行う、罠による駆除が現実的な対策となります。獣害対策に特効薬はなく、神山町全域を対象として行った集落環境診断の結果なども参考に、獣を呼び寄せない環境整備を地域で行っていただくことも対策の一つです。また、サルについてはGPS(首輪)をつけた監視を今年度も行っており、得られた情報を元に今後の駆除や防除に向けたご提案ができればと考えています。</p>
③	<p>電柵の管理について電柵周辺にヒルが多い。昔はヒルの薬を市で支給してくれたが、今では除草剤になった。ヒルの薬も支給してほしい。</p>	<p>限られた予算であり、また公平性の観点からも、今後各地区に対して要望調査等を行い、現状に即した配布について検討してまいります。</p>

No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
④	わに塚の桜周辺について 小さな田んぼを一枚にしてもらえれば耕作できるという話もあるが、どうにかできないか。	現在、県営中山間総合整備事業にて農道や水路等を整備しており、新たな圃場整備事業となりますと非常に難しい状況でありますのでご理解願います。
⑤	砂防について 整備した砂防堰堤等の見学会を実施したらどうか。 流域に住んでいる住民の防災意識を高めることに繋がると思うが。	近年、全国的に出水期の大規模災害が発生していることから、地区関係者からの要請がありましたら、見学会の実施を行ってまいります。
⑥	交通安全対策について 主要地方道韮崎南アルプス中央線もだが、農面を通る車の交通量も多い。取り締まりも必要だが、農面の広い所へパトカーがいるだけでも違うと思うが。	いただいたご意見を甲斐警察署の担当課へ届けてまいります。
⑦	釜無川東側にあるサイクリングロードを西側にも整備し、桐沢橋から武田橋まで周回できるようにして欲しい。	穴山橋から武田橋までの釜無川サイクリングロードが整備済みでありますので、新たな整備計画はございませんが、現在、やまなし自転車活用戦略会議により韮崎周遊コースの設定に向け調整中でありますので、策定後は、健康増進に向け活用いただきたいと思います。
⑧	県営中山間地域総合整備事業「武田の里地区」について 事業の見直し及び中止情報や進捗遅延の状況について	事業を中止することはありません、地区から出された推進計画は、必ず実施されます。 ・平成25年に事業実施されてから10年が経過し、社会・経済状況の変化等を鑑み、残事業を本年度(R5)見直して、その後変更内容を各地域に説明し改めて同意をいただきます。(2/3以上の同意が必要)

No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
⑨	<p>人口減少対策について(跡取り政策の充実)  跡取りが地域に住むためには、新築住宅支援金・安価な「子育て支援住宅」の建設や市営住宅の活用・三世代同居優遇制度・農振除外優遇・減免や免除の税制優遇制度などの取り組みを。</p>	<p>さまざまな施策が考えられますが、議会としても市民の意見に耳を傾けて、市政に対し議論を進めて参ります。</p>
⑩	<p>主要地方道葦崎南アルプス中央線の整備について  唐沢橋周辺の拡幅整備の進捗状況について</p>	<p>関係機関との間で、本年度、地図訂正が完了できる予定であります。再度、詳細な説明を地権者し了解が得られれば、工事化となります。</p>
⑪	<p>連合堰取水口の改修整備について  連合堰の取水口に増水の度に土砂が堆積し浚渫作業が必要になるので早期に整備をしてほしい。</p>	<p>現在、小武川の護岸工事が上流から進められています、指摘の取水口の辺は第6期工事の予定であり、次の工事着手になります、この工事と合わせての改修と聞き及んでいます、先般地元役員に説明会をして、現在の慣行水利か、別の許可水利にするか結論は出ていません。</p>

－ 令和5年度 第14回「議会報告会」の開催状況の報告 －

【 甘利 】地区

■報告会期日： 令和5年7月7日(金)

■開催場所： 大草ふれあいホール

■参加者：	<u>旭</u>	地区…	(男)	<u>19</u>	人	(女)	<u>    </u>	人	小計	19 人
	<u>大草</u>	地区…	(男)	<u>13</u>	人	(女)	<u>    </u>	人	小計	13 人
	<u>龍岡</u>	地区…	(男)	<u>23</u>	人	(女)	<u>  1</u>	人	小計	24 人
	<u>    </u>	地区…	(男)	<u>    </u>	人	(女)	<u>    </u>	人	小計	人
	<u>その他</u>	…	(男)	<u>  1</u>	人	(女)	<u>    </u>	人	小計	1 人
		合計	(男)	56	人	(女)	1	人		57 人

(1)テーマ：通学路の安全対策の推進について

### 1. 県道607号 北原下條南割線について



現地立ち合いの様子

※1

#### < 横断歩道の新規設置について >

##### ①羽根公民館前

- ・今夏季中に設置。
- ・通学路の変更に伴い、横断する児童が増えたため、昨年11月に要望書を提出。その後、地域の皆様のご理解のもと条件が整ったため事業決定に至る。※1

##### ②町屋区の児童の横断場所

- ・県道の整備に合わせて、横断歩道の設置を求め、本年5月に要望書を提出。※2

#### < R5年度の歩道の延伸について 県の回答 >

用地取得の状況：R5年5月時点で約90%の用地を取得

①歩道の延伸は、望月工務店付近までとし、秋までの完成を目指している。その後、同区間の舗装工事を年内中に実施する予定。(道路幅員：車道5.5m、片側歩道2.5m)

②現在の施工区間の続きからJA梨北甘利営農センターに向けて側溝設置工事を予定している。



6月10日、時点の様子

工事前の様子



※2



(1)テーマ：通学路の安全対策の推進について

## 2. 羽根坂の防犯と森林管理について

韮崎市老人福祉センターから甘利小学校までの通学路のうち、羽根坂につきましては、道路沿いの樹木、竹類の影響により、倒木の危険、さらには、一日中日陰となるため、冬期には凍結、積雪等により通行に支障をきたしておりました。

また、夏場は繁茂した葉により昼間でも薄暗く、特に下校時には防犯上の問題もあることから、地区、学校関係者から心配の声が寄せられ、対策要望が出されている状況であります。

そこで市では、令和4年度森林環境譲与税補助事業により、地権者から、伐採及び1割負担の同意が得られた箇所において、市道沿いの幅10mの刈払いを実施したところであります。



着工前



完成



完成

# 羽根坂防犯灯位置図



↑ 至 社会福祉協議会

1本の電柱に2基設置

- 凡例
- : 防犯灯設置箇所
  - : 1箇所2基設置箇所
  - : R3追加新設場所

↓ 至 甘利小学校

縮尺 1 : 1500

### 3. 危険箇所へのガードレール設置について

#### ■羽根坂の危険性

- ① 谷側に転落防止用のガードレールがない区間がある。〈ガードレールの設置〉
- ② 見通しが悪く、児童の認識や車のすれ違いに危険が生じる。
- ③ 雨や雪の影響も受けやすく路面がすべることがある。  
〈交通安全指導やドライバーへの周知〉

#### □ガードレールの設置

ガードレールの設置を地域、学校と共に市へ働きかける。

#### □交通安全指導やドライバーへの周知

通学路につき、ドライバーへの周知と児童への交通安全指導を継続実施することが求められる。





(1)テーマ：通学路の安全対策の推進について

#### 4. 徳島堰沿い道路の外側線補修について

市内の道路標示の不鮮明な箇所につきましては、幹線道路等を優先に、順次対応しているところであります。徳島堰沿い道路につきましては、市の管理道路であり市において現地確認の結果、外側線が不鮮明な状況でありました。この路線は、通学路に指定されてる道路でありますので、早期に対応できるよう市に要望してまいります。また、通学路における危険箇所につきましては、引き続き、パトロールを実施するとともに、通学路安全推進会議における要望箇所、地域住民等からの情報提供により安全に通行できるよう市に要望してまいります。



## (2)テーマ：県道甘利山公園線、若尾・北原地区内の道路拡幅について

### ■ 県道甘利山公園線の概要

県道甘利山公園線は、旭町甘利山公園を起点とし龍岡町若尾新田に至り、県立自然公園の甘利山公園へのアクセス道路であるとともに、国道20号線と主要地方道葦崎南アルプス中央線とを連絡する生活道路でもあります。事業区間にあつては、幅員狭小箇所や視認距離を確保出来ない箇所が存在し、ドライバーは対向車とのすれ違いに危険を感じています。また歩道幅員も十分でなく、歩行者は常に車両の通行を意識せざるを得ず、車両及び歩行者の円滑な通行に支障が生じています。ドライバーの視認距離の確保、円滑な通行と歩行者の安全確保を図るため、事業の早期完成に向けて県に要望してまいります。

### ■ 事業区間

◇ 葦崎工業高校前 ～ 老人福祉センター前交差点

### ■ 事業の現在までの概要

平成30年度に調査費用が県予算に計上され、計画線上の補償対象物件等について詳細な調査が実施され、補償費用の見積もり並びに計画線確定のための細やかな修正が加えられるなどされたのち、令和元年9月、令和2年1月の2回に分けて、若尾地区及び若尾新田の公民館において、地元地権者及び関係者向け説明会が実施されました。

令和2年度以降、補償並びに用地交渉に向けた手続きが本格的に進められ、令和3年度より一部において工事に着手しております。

令和5年度(本年度)も引き続き残りの用地交渉を進めるとともに、工事の進捗を図っているところであります。

### ■ 今後の予定

◇ 令和5年度 補償事業・用地交渉を継続し、葦崎工業高校前及び秋山脳外科から老人福祉センター前交差点までの工事を令和6年度に掛けて実施予定。

◇ 令和6年度 道路改良済み区間の舗装工事を実施予定。

老人福祉センター前交差点から先の拡幅につきましては、事業化に向け検討中であります。

※長年にわたる地元要望が早期に実現されるよう、地元のご協力をいただきながら、県に要望してまいります。



現在の整備状況



No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
①	中学生の不登校は何名いるのか。	令和5年6月末現在で、東西中学校合わせて20人です。
②	文教厚生常任委員会の報告のなかで、 請願の35人学級とあるのは25人ではないか。	山梨県及び本市においては25人学級が進んでいるが、この請願は国に請願するものであり、全国的に35人学級が進んでいないための請願であります。
③	羽根坂の雑木除去については感謝しているが、サル及びイノシシの対策を考えてほしい。	産業観光課に対策をしていただけるように要望して参ります。
④	①羽根坂の雑木除去に森林譲与税を利用したということですが、令和5年度以降も森林譲与税が使用できるか。 ②中高生が利用している坂の上地区内の道で、樹木の覆い茂った場所があるので森林譲与税の活用を要望したい。	①令和4年度には850万円が投入され、羽根坂についてはこちらを活用しました。令和5年度においても国から交付される予定でありますので、市内の各地区の配分について、行政に要望して参ります。 ②現在、坂の上区と当地における整備事業を進めているところです。概ね2年間の事業となる見込みで、施工会社からの見積もりを待っている状況です。
⑤	旭バイパスの交通量が增大しております。今後さらに増大が予想されますので、韮崎市側の事業化促進を図ってほしい。	旭バイパスの事業化については、地元にも賛否があり県においては事業化が難しいとのことととりあえず、旭25号線に接続の計画で事業が進められています。今後、地域の合意が得られたならば、行政に要望していきます。

No.	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
⑥	子育てに優しいまちづくりを推進してほしい。学校、公民館、児童館等でタイアップして取り組めば子育て世代の意見を反映できて人口減少対策にもつながると思うが。	これからの時代を担っていく子どもや子育て世代の声を聴き、それを反映させるため、議会においても様々な調査を行っています。今後も、当事者や皆さんからの貴重な意見を基に議会だけではなく、韮崎市が一丸となって人口減少対策を進めていけたらと思います。
⑦	韮崎市は、夜間人口より昼間人口のほうが多い、これは市内企業に他市から勤めていることだと思う、各企業の状況を把握する必要があるのではないか。	令和2年・3年については、1千億円くらいが韮崎市に集まっています。そのうち250億円が従業員の給料として市外に出て行っています。市並びに議会としましても、いかにして韮崎市に住んでいただくか、調査研究を行っておりますが、その貴重なご意見を参考に研究させていただきたいと思います。
⑧	人口減少対策としては、サービス水準のポジショニングをすること、限られた財源をどう使うか議会の役目だと思うが、期待している。	人口減少の問題は、全国的なことでもあります。他市町村の状況を把握するなかで、若い人達に移住していただくためには、働く場所と居住する場所の確保が必要があることは言うまでもありません。議会としましても、行政とともに調査研究をしております。
⑨	下水道への加入率はどのくらいか。	市内全体の下水道整備率は、67.7%で、そのうち下水道への接続率は、87%であります。 甘利地区につきましては、整備率は70.6%、そのうち接続率は、74%であります。
⑩	甘利小学校が災害時の避難場所になっているが、駐車場がなく車での避難ができないので、グラウンドを人工芝等にして利用出来ないか、他市では行っているところもある。 甘利小学校は、全教室にエアコンが設置されているので、検討を願いたい。	学校と市の協定が必要であります。学校によって違いがありますので、災害時には使用が出来るよう、議会としましても調査研究したなかで助言してまいります。